

ブロック名 北海道・東北地区ブロック

第 16 回献血推進運動中央連絡協議会における協議事項について

1. 平成 25 年度に行われた事業等の実績評価

都道府県名	事業等の名称	事業内容	本事業の効果・効果の要因・26 年度に向けた改善点 (献血者数、参加者数等の数値で表せる場合は記載する)
北海道	水曜どうでしょう祭 UNITE2013 献血	<p>下記の何れかにご協力いただいた方に、「水曜どうでしょう」とコラボしたステッカーを進呈。</p> <p>①献血の協力 祭開催期間中の 3 日間に採血車を 1 台配車。計 3 稼働。</p> <p>②複数回メールクラブ会員募集 ・献血の間隔等により献血出来ない方が予想されたため、当該クラブの新規会員募集も行った。</p> <p>③血液不足時における献血協力依頼 ・①②ともに協力いただけな</p>	<p>① <u>事業効果</u>・・・全国的にも有名となった北海道ローカル番組とのコラボ企画。祭会場には 3 日間で、延べ 4.7 万人の来場があり、献血協力数は 3 日間で受付 417 人、採血数 311 人（全て 400mL）であった。</p> <p>また、複数回メールクラブには 124 名の登録があった。血液不足時の協力については、献血会場が混雑したため、対応出来ず縮小したため 11 名に留まった。</p> <p>② <u>効果要因</u>・・・各協賛企業が祭会場でブース展開を行っていたが、「どうでしょう」のロゴの使用許可をいただけただけなのは、献血だけであった。記念品として作ったのは「ステッカー」のみであったが、オフィシャルホームページで紹介されたこともあり、初日から長蛇の列が出来た。</p>

北海道		<p>い方の対応として、本人宛てに宛名をご記入いただき、血液不足時の献血協力をお願いした。</p> <p>上記の何れかにご協力いただいた方に、「水曜どうでしょう」とコラボしたステッカーを進呈。</p>	<p>③ <u>改善点</u>・・・初めての実施となったため、計画数を 50 人程度としていたが、連日倍近くの協力があり処遇品（ステッカー）が不足した。</p>
青森県	<p>クリスマス献血 キャンペーン</p>	<p>青森県学生献血推進連絡会による企画（津軽三味線演奏・くじ引き）や呼びかけを実施。</p> <p>3 日間で延べ 4 5 名の学生ボランティアが参加した。</p>	<p>① <u>事業効果</u>・・・3 日間（移動採血車計 4 台）で 1 7 9 名の献血協力が得られた。この内、若年層（1 6 才～2 9 才）の献血者は 3 1 名（1 7 %）であった。</p> <p>② <u>効果要因</u>・・・学生ボランティアの呼びかけにより、多くの方々に協力していただいた。</p> <p>③ <u>改善点</u>・・・学生の役割分担を明確にし、よりスムーズなイベント運営を心がける。</p>
岩手県	<p>クリスマス献血 2014</p>	<p>①初日のオープニングセレモニーでキャンペーンのPRを行い、学生ボランティアや各団体の協力のもと献血の呼び掛けをした。期間中の献血者全員に記念品（市販の菓子）を贈呈した。</p> <p>②この時期に合わせ県でテレビスポットCM（献血ルーム</p>	<p>① <u>事業効果</u>：期間中（25 日間）のメインの 15 会場および献血ルームにおいて 3, 923 名のご協力を得た。</p> <p>② <u>効果要因</u>：オープニングセレモニーではテレビ 1 社、新聞 3 社の取材報道があり献血を広く県民に周知することができた。</p> <p>③ <u>H26 に向けた改善点</u>：電車、バス車内等にポスター掲示を行い、より長い時間、多くの方の目に触れる形で広報を行う。</p>

岩手県		での献血体験)を制作し民放4局で126本放映した。	
	バレンタイン献血 2014	初日のオープニングセレモニーでキャンペーンのPRを行い、学生ボランティアや各団体の協力のもと献血の呼び掛けをした。期間中の献血者全員に記念品(市販のチョコレート)を贈呈した。	<p>① <u>事業効果</u>・・・期間中(14日間)のメインの10会場および献血ルームにおいて2,162名のご協力を得た。</p> <p>② <u>効果要因</u>・・・オープニングセレモニーでは新聞3社の取材報道があり、献血を広く県民に周知することができた。</p> <p>③ <u>H26に向けた改善点</u>・・・女性職員をイベント担当者に任命し、より効果的な女性への働きかけの方法等について、立案強化を図る。</p>
	献血ハートフルコンサート	若年層を中心に献血への理解を深めてもらい、献血意識の向上を図ることを目的とし、献血に関するトークショーと私立高校吹奏楽部による演奏を大型ショッピングセンターにて午前と午後の2回行った。	<p>① <u>事業効果</u>・・・コンサート当日の献血も盛況(計画比119%)であり、献血を広く県民に周知することができた。</p> <p>② <u>効果要因</u>・・・ラジオにて20秒CMを30本、3つのラジオ番組内でPRを行い、当日のトークショーとコンサートの模様を収録し、後日、ラジオにて放送した。また、新聞1社の取材報道があった。2回のコンサートでは約420人に観覧していただき、盛況であった。</p> <p>③ <u>H26に向けた改善点</u>・・・女性職員をイベント担当者に任命し、より効果的な女性への働きかけの方法等について、立案強化を図る。</p>

秋田県	秋田献血大作戦 2013	秋田県学生献血推進協議会のメンバーによる同世代への献血呼掛けをラジオ番組大作戦として行った。(クリスマス献血キャンペーン)	<p>① <u>事業効果</u>・・・若年層献血者、初回献血者の確保及び献血啓発</p> <p>② <u>効果要因</u>・・・献血会場来者 160人 献血協力者 105人</p> <p>③ <u>改善点</u>・・・ラジオを聞いて来場した方もいたが学生らの SNS による呼掛けが目立った。</p>													
山形県	献血普及啓発映画CM放映	高校生が複数回献血を呼びかける15秒CMを制作し、映画館において放映する。(1カ月1500回放映、5回/1日/1スクリーン×10スクリーン×30日、9ヵ月)	<p>① <u>事業効果</u>・・・</p> <p>1) 複数回献血者数 572人増</p> <table border="1" data-bbox="1377 598 2027 726"> <thead> <tr> <th></th> <th>複数回献血者数</th> <th>複数回献血率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H25年度</td> <td>8519人</td> <td>27.7%</td> </tr> <tr> <td>H24年度</td> <td>7947人</td> <td>26.5%</td> </tr> </tbody> </table> <p>2) 高校生献血者の増加(194人増)</p> <table border="1" data-bbox="1512 782 1937 869"> <tbody> <tr> <td>平成25年度</td> <td>3943人</td> </tr> <tr> <td>平成24年度</td> <td>3749人</td> </tr> </tbody> </table> <p>② <u>効果要因</u>・・・</p> <p>・集客の多いGW、夏休み、年末年始、春休みにCMを放映。</p>		複数回献血者数	複数回献血率	H25年度	8519人	27.7%	H24年度	7947人	26.5%	平成25年度	3943人	平成24年度	3749人
	複数回献血者数	複数回献血率														
H25年度	8519人	27.7%														
H24年度	7947人	26.5%														
平成25年度	3943人															
平成24年度	3749人															
宮城県	<ul style="list-style-type: none"> ・スプリング献血(4月) ・クリスマス献血(12月) ・バレンタイン献血(2月) 	<ul style="list-style-type: none"> ・献血いただいた方に、コンビニスイーツやケーキ、チョコレートを進呈し、献血者確保を図る。 	<p>① <u>事業効果</u>・・・400mL献血率が80%台から90%台に上昇した。</p> <p>② <u>効果要因</u>・・・記念品を進呈する事により献血者の関心が得られた。</p> <p>③ <u>改善点</u>・・・実施期間の見直しが必要と思われる。</p>													

<p>福島県</p>	<p>「ヤング献血！秋まつり」 「献血感謝デー」</p>	<p>大学生を中心に特設ステージからパフォーマンスの披露と献血の呼掛けをおこない献血者同伴の家族にも楽しんでもらえる献血イベントを開催した。</p> <p>献血者へ日頃の御礼と今後のリピート献血につながるように、県内の「ご当地キャラクター」を集めて、家族で楽しめる献血イベントを開催した。</p>	<p>① <u>事業効果</u>・・・「ヤング献血！秋まつり」は、10団体延べ129名の大学生達が参加献血者数は2日間で267名。 「献血感謝デー」は、2日間で408名が献血協力。</p> <p>② <u>効果要因</u>・・・事前の広報を学生のネットワークを活用。 話題性のある企画内容によりパブリシティーとして地元新聞ラジオ等で事前広報いただいた。</p> <p>③ <u>改善点</u>・・・他の献血以外のイベントとの日程調整。</p>
------------	---------------------------------------	--	---

2. 26年度献血推進計画に盛り込まれている事業の取組予定

①学生献血推進ボランティア等（同世代からの働きかけ）の広報活動

都道府県名	<p>予定事業の概要 (事業の取組みに当たって、重点を置く事柄を含む。)</p>	<p>本事業を行うにあたっての連携・協力先 (連携・協力を必要とする団体等やその連携・協力を得るための方法等)</p>
<p>北海道</p>	<p>・サマー献血キャンペーン(7月)、クリスマス献血キャンペーン(12月)の実施。 学生ボランティアが主体となり、イベントの企画、運営、広報を行い同世代に向け献血の必要性を訴える。</p>	<p>・北海道学生献血推進協議会、民放テレビ、ラジオ局</p>

青森県	青森県学生献血推進連絡会の活性化 <ul style="list-style-type: none"> ・参加校(現7校)の拡大 ・学校献血時の呼びかけ協力 ・啓発パンフレット作成の企画協力 ・サマー、クリスマス献血キャンペーンの実施 子育て世代への献血協力呼びかけ	各大学 市教育委員会
岩手県	各種イベントでの呼びかけ <ol style="list-style-type: none"> 1 東北夏のイベント 2 クリスマスイベント 3 バレンタインイベント 	学生赤十字奉仕団
秋田県	<ul style="list-style-type: none"> ・若年層の献血協力者を増やすため各種キャンペーン、イベント時に学生らが中心となった献血推進活動を実施する。(友だちへの声掛け(SNS)) ・学内献血、街頭献血会場における献血呼びかけ 	秋田県学生献血推進協議会(大学生等)
山形県	<ol style="list-style-type: none"> 1 東北統一サマー献血キャンペーン 2 全国学生クリスマス献血キャンペーン 3 学生ボランティアを対象とした研修会及び打合せ会の開催 	<ol style="list-style-type: none"> 1～2 山形県学生献血推進協議会及び各献血会場該当保健所及び市町村 3 山形県学生献血推進協議会
宮城県	<ul style="list-style-type: none"> ・学生サマー献血キャンペーンの実施(8月) ・学生クリスマス献血キャンペーンの実施(12月) 	<ul style="list-style-type: none"> ・実施市町村(古川市、名取市、石巻市) ・ライオンズクラブ ・ショッピングモール ・宮城県赤十字血液センター

福島県	① 平成24年にスタートした学生による献血推進運動「献血、わたしたちからはじめよう！」の献血イベントの開催。	県内の大学、専門学校の赤十字奉仕団を中心に打ち合わせ会を開催して、各学校のホームページやボランティアの学生のSNS等、ネットワークを使った広報を展開する。
-----	--	---

②国民への献血実施の日時や場所等についての十分な広報活動

都道府県名	予定事業の概要 (事業の取組みに当たって、重点を置く事柄を含む。)	本事業を行うにあたっての連携・協力先 (連携・協力を必要とする団体等やその連携・協力を得るための方法等)
北海道	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティ放送及び新聞紙上での情報発信。 ・血液センターホームページ（PC、モバイル版、Facebook）への掲載。 ・複数回献血クラブへの情報発信。 ・新聞折り込みチラシの配布。 ・ダイレクトメールの発送。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティ放送局、各新聞社 ・新聞社（各新聞販売所）
青森県	<p>マスメディアによる周知（県のラジオ、テレビ） ホームページへ掲載 フリーペーパーの活用</p>	<p>各市町村 各報道機関</p>
岩手県	<ol style="list-style-type: none"> 1 ホームページへの掲載 2 新聞への掲載 3 民放ラジオでの放送 4 新聞折込チラシの配布（献血実施地域の新聞） 5 ハガキでの献血依頼 6 複数回献血クラブ会員へのメール送信 	<p>新聞社及びラジオ局</p>

秋田県	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業所訪問時のポスター事前配布 ・ 新聞、ラジオによる周知（週間献血日程等） ・ 市町村広報誌への掲載 	協力事業所、報道機関、市町村等
山形県	<ol style="list-style-type: none"> 1 市町村の広報誌及びホームページへの掲載 2 献血会場への事前告知ポスター 3 ラジオによる広報 4 血液センターのホームページへの掲載 	<ol style="list-style-type: none"> 1 各市町村 2 献血推進員及び市町村担当者 3～4 血液センター
宮城県	<ul style="list-style-type: none"> ・ JR 仙台駅折りたたみ時刻表への掲載 ・ 献血実施会場における告知用ポスターの掲示 ・ 血液センターホームページへの掲載 ・ 地元新聞紙への献血実施会場の告知 ・ 地元ラジオ局からの献血実施会場の放送 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 宮城県 ・ 地元新聞社 ・ 地元FM局 ・ 地元AM局 ・ 宮城県赤十字血液センター
福島県	<ol style="list-style-type: none"> ① 血液センターのホームページへの掲載 ② 情報誌やフリーペーパーへの掲載 ③ 公共機関発行誌への掲載 ④ ラジオ、テレビの活用 ⑤ 献血の事前告知ポスター 	<ol style="list-style-type: none"> ② 地元発行のタウン情報誌等 ③ 各市町村等 ④ 地元ラジオ局およびテレビ局

③平成23年4月1日に施行された採血基準改正についての広報

都道府県名	予定事業の概要 (事業の取組みに当たって、重点を置く事柄を含む。)	本事業を行うに当たっての連携・協力先 (連携・協力を必要とする団体等やその連携・協力を得るための方法等)
北海道	<ul style="list-style-type: none"> ・ティーンズドナー献血推進キャンペーンの実施 各ラジオ局と協力し、若年層に人気の番組の中で、献血についての話題を盛り込む。また、ポスターを各大学等や地下鉄車両内に掲示する。 ・血小板成分献血の推進(男性の献血可能年齢について54歳から69歳へ上げられたことの情報発信等) ・ハガキ、新聞折り込みチラシ等による周知。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各AM・FMラジオ局、北海道 ・新聞社(各新聞販売所)
青森県	ラジオ放送 ホームページによる広報 フリーペーパーによる広報 パンフレットの配布 <ul style="list-style-type: none"> ・高校・大学生等 ・ヤング(16~29歳)・シニア(50~69歳)の献血依頼者 	各報道機関 各高校・大学等、市町村
岩手県	県ホームページへの掲載	
秋田県	<ul style="list-style-type: none"> ・新採血基準ポスターの掲示 ・デジタルサイネージ(電子掲示板)、テレビCMによる広報 	公共機関、学校、血液センター献血ルーム、民放テレビ局等
山形県	<ol style="list-style-type: none"> 1 県ホームページに掲載 2 テレビ・ラジオCM 3 高校へのパンフレットやポスター配付 	<ol style="list-style-type: none"> 1 山形県 2 各報道機関 3 養教部会、各保健所

宮城県	<ul style="list-style-type: none"> ・ ホームページを活用した広報 ・ 献血啓発リーフレットに掲載（高校全校に配布） ・ 献血啓発資材（カットバン）に掲載 	・ 宮城県
福島県	<ol style="list-style-type: none"> ① 採血所へポスターを掲示 ② 事業所への事前推進時に説明を実施 ③ 血液センターおよび県ホームページへの掲載 	各市町村等

④ 「献血セミナー」や血液センター等での体験学習への取組

都道府県名	予定事業の概要 (事業の取組みに当たって、重点を置く事柄を含む。)	本事業を行うに当たっての連携・協力先 (連携・協力を必要とする団体等やその連携・協力を得るための方法等)
北海道	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小中学校の行事に合わせた啓発活動 学校が主催する行事での献血セミナーの実施や献血推進に係る展示ブースへの広報資材の出展。 ・ 授業時間等を利用した献血セミナーの実施 理科、道徳、保健体育等の授業時間を活用し献血セミナーを実施。 ・ 施設見学の受け入れ ブロックセンターに設置した施設見学コースやガイダンスホールを積極的に学生等、若年層の受け入れを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 管内市町村教育委員会、校長会、ライオンズクラブ、日赤支部 ・ 管内市町村教育委員会、校長会、ライオンズクラブ
青森県	<p>献血親子セミナーの開催（7月下旬、3日間） 献血講座の実施（高校生対象）</p>	<p>青森市教育委員会 青森県教育委員会</p>

岩手県	<ol style="list-style-type: none"> 1 親と子の血液センター見学会（小学生対象、夏休み期間6日間） 2 JRC高校生大会 	教育委員会
秋田県	<ul style="list-style-type: none"> ・保健所、血液センターによる出前講座 ・親子ふれあい献血体験 ・血液センター施設見学受入 	学校、保護者、各種団体等
山形県	<ol style="list-style-type: none"> 1 次世代の献血者育成事業（中学3年生を対象とした出前講座） 2 献血セミナーの実施 3 ふれあい事業 	<ol style="list-style-type: none"> 1 中学校、血液センター 2 高等学校、血液センター 3 県内高校東北ブロックセンター施設見学
宮城県	<ul style="list-style-type: none"> ・中学・高校・大学・専門学校への献血セミナー開催の案内状送付や学校訪問 ・献血サマーキッズスクール開催（小学生4～6年生対象、夏休み期間2日間） 	<ul style="list-style-type: none"> ・市町村 ・宮城県赤十字血液センター ・青年赤十字奉仕団（ブロック会議にて、サマーキッズスクールへの協力申し入れあり）
福島県	<p>「夏休み血液センター見学会」を実施。</p> <p>概要：血液センターホームページで開催の告知 キッズ献血模擬体験コーナー、施設見学、クイズ大会、パネル展示を実施。</p>	<p>地域の学習センター等（広報の依頼） 新聞社を訪問して、事前広報の掲載依頼。</p>

⑤大学等における献血の推進及び将来の医療従事者を目指す者に対する普及啓発の取組

都道府県名	<p>予定事業の概要 (事業の取組みに当たって、重点を置く事柄を含む。)</p>	<p>本事業を行うに当たっての連携・協力先 (連携・協力を必要とする団体等やその連携・協力を得るための方法等)</p>
北海道	<ul style="list-style-type: none"> ・ 血小板成分献血推進研修会の開催 成分献血に団体でご協力いただいている大学のサークル等を対象に、成分献血の必要性を理解頂くためセミナーを実施。 ・ 学生献血推進協議会の開催 道内の学生献血推進ボランティアの代表を召集し、講演会及び意見交換会を実施。 ・ 看護学校、医学系大学等の学生を対象として、血液事業全般に関する研修会及び献血の実施。 ・ 献血推進ポスターの募集 学生を中心に広く、献血周知用ポスターのデザインを募集し、製作を通じて献血の意義・必要性を理解していただく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各大学（サークル） ・ 道内学生献血推進ボランティア（5団体） ・ 看護学校、医学系大学 ・ 大学・専門学校
青森県	<p>大学等への献血バス配車 学園祭パンフレットへの広告記載 青森大学薬学部学生の研修会 弘前大学医学部見学実習 看護学生への特別講義</p>	<p>各市町村 各大学 青森大学 弘前大学 青森市立高等看護学院</p>

岩手県	<ul style="list-style-type: none"> 1 薬学部・看護学部 研修での事業説明 2 大学・専門学校への献血バスの配車 3 学生赤十字奉仕団研修会 	大学・専門学校
秋田県	<ul style="list-style-type: none"> ・大学での献血実施及び献血講話 ・学生献血推進協議会による研修会開催 ・医学部を有する秋田大学が協議会に加入していないため、加入を呼びかけている。 	大学、短期大学、専門学校
山形県	<ul style="list-style-type: none"> 1 山形大学医学部研修 2 看護大学及び看護専門学校での研修会等 	<ul style="list-style-type: none"> 1 4・5年生を対象にルームにて実施（講義等） 2 スライドやDVDを使用 山形県立保健医療大
宮城県	<ul style="list-style-type: none"> ・大学・専門学校への複数回献血実施の依頼及び献血の実施 ・5月 東北薬科大学学生約50名が数日に分けて、体験学習として血液センターで研修及び施設の見学を実施 ・9～12月東北大学医学部保健学科学生約50名が数日に分け、授業のカリキュラムの一つとして血液センターで研修及び施設の見学を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・市町村 ・宮城県赤十字血液センター ・東北薬科大学 ・東北大学医学部保健学科
福島県	<ul style="list-style-type: none"> ① 医学生を対象とした血液センター実習（採血、検査、製造、供給の工程について） ② 各医療専門学校生等の見学会の受け入れ 	<ul style="list-style-type: none"> ① 福島県立医科大学（毎月第1・3水曜日で実施） ③ 臨床検査技師、看護師の学校を受け入れ

3. 「献血推進2014」にある目標を達成するための重点的な取組み

① 献血の意義を理解していただく取組み（受血者の顔が見えるような広報など）

都道府県名	予定事業の概要 (事業の取組みに当たって、重点を置く事柄を含む。)	本事業を行うに当たっての連携・協力先 (連携・協力を必要とする団体等やその連携・協力を得るための方法。)
北海道	<ul style="list-style-type: none"> ・ 輸血を受けた方からの声を募集し、ホームページや広報資材に活用する。 ・ 献血フォーラムの開催 献血の現状についての情報発信及び外部講師による講演会等の実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療機関、各市町村 ・ 日赤表彰受賞団体、複数回献血クラブ会員（特に若年層）、献血推進ボランティア
青森県	各種研修会等での献血講話の実施	各市町村・献血協力団体等
岩手県	<p>献血の意義や重要性について、輸血経験者や医療関係者の感謝の気持ちを県民に直接伝えることで、効果的な献血推進活動に繋げ、県民が安心・安全な輸血医療を受ける環境を整備することを目的とし、昨年、岩手県で立ち上げた「ありがとういのちの会」を発展させる。</p> <p>また、その会員にご協力いただき、各種献血推進キャンペーンでの献血呼びかけ、献血セミナーでの講話、地域の市町村献血推進協議会での体験発表、献血情報誌への寄稿などを行う。</p>	受血者や受血者の家族 ボランティア団体（ライオンズクラブ等） 医療従事者（医師、看護師等）
秋田県	<ul style="list-style-type: none"> ・ 献血講話の実施と「愛のかたち献血」などの冊子の活用 ・ 小学生を対象に献血模擬体験の実施（バスを活用） ・ 啓発用DVDの放映 	学校、事業所、各種団体等

山形県	1 献血セミナーにおける献血啓発用 DVD の活用 2 デジタルサイネージによる放映	1 大学、高校、中学校、推進団体（LC等） 2 献血ルーム
宮城県	・献血セミナーの開催	・市町村 ・宮城県赤十字血液センター
福島県	① 献血啓発用 DVD の活用 ② 献血出前講座の拡充	福島県教育委員会（各学校）、献血協力団体

② 10代の方々に献血の意義を理解していただき、初めての献血を安心して行っていただくような環境整備

都道府県名	予定事業の概要 (事業の取組みに当たって、重点を置く事柄を含む。)	本事業を行うに当たっての連携・協力先 (連携・協力を必要とする団体等やその連携・協力を得るための方法。)
北海道	<ul style="list-style-type: none"> ・血液センター施設見学の受入 献血の重要性を理解いただくとともに、献血受入から血液製剤を医療機関へお届けするまでの流れを実際に見ていただく。 ・高校献血実施前の事前説明会の実施 献血の重要性を理解していただくとともに、献血時の手順、個人情報の取り扱い、お願い事項等を説明することにより献血に対する恐怖心を払拭する。 ・ティーンズドナーキャンペーンの実施 若年層に高聴取率を誇るラジオ番組とタイアップし、番組内から献血推進などを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各小中学校、高等学校 ・各高等学校 ・民放ラジオ局

青森県	<p>高校献血の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 校長会での献血依頼 ・ 学校献血未実施高校への訪問・協力依頼 <p>若年層向けパンフレットの配布（高校1年生全員）</p>	<p>青森県教育委員会・各市町村 各高校 各高校、専門学校等</p>
岩手県	<p>大学・専門学校・高校への配車</p>	<p>大学・専門学校・高校</p>
秋田県	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校への出前講座（保健所、血液センター） ・ 高等学校における献血実施 	<p>小中学校、高校 高等学校での献血は、友達同士の誘い合いで動機付けとなることもある（安心感）</p>
山形県	<ol style="list-style-type: none"> 1 次世代の献血者育成事業（中学生を対象とした出前講座） 2 中学生・高校生を対象とした献血推進ポスターコンクールの実施 3 中学生を対象とした献血セミナー 4 学生ボランティアへの研修会 ※各学校での献血実施の際、同級生等へ呼びかけ 5 高校での献血セミナー 	<ol style="list-style-type: none"> 1 血液センター、県内中学校、山形県 2 県内中学校、高等学校 3 血液センター、県内中学生 4 血液センター、学生推進協議会 5 主に1年生を対象とした献血セミナーの実施
宮城県	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高校全校に若年層向けリーフレットを配布 ・ 献血実施校へ事前での献血セミナーの開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 宮城県 ・ 開催実施校の校長や保健担当者 ・ 宮城県赤十字血液センター
福島県	<ol style="list-style-type: none"> ① ジュニア献血ポスターコンクール（中学生対象に標語も募集。昨年度68校620件募集あり） ② 高校卒業生向けリーフレットの配布（高校卒業後、他県に行く生徒も多いため、全国の献血場所が検索できる日本赤十字社のホームページを掲載） ③ 学生が主体となり、同世代から呼びかける献血イベントの開催（サマキャンペーン、クリスマスキャンペーン等） 	<ol style="list-style-type: none"> ① 福島県教育委員会、県内の中学校 ② 県内の高等学校 ③ 各大学、専門学校（案内カードを配布） ④ 薬事工業協会

③ 20代の方々にリピータードナーとなっただけような取り組み

都道府県名	<p style="text-align: center;">予定事業の概要 (事業の取組みに当たって、重点を置く事柄を含む。)</p>	<p style="text-align: center;">本事業を行うに当たっての連携・協力先 (連携・協力を必要とする団体等やその連携・協力を得るための方法。)</p>
北海道	<ul style="list-style-type: none"> ・ 専門学校、大学での献血セミナー開催 ・ 複数回献血クラブ会員への登録推進 大学での献血実施の際に、職員を増員し当該クラブへの勧誘を行う。また、各献血施設で登録目標数を設定し、会員の増加を図る。 ・ 学生献血推進協議会の開催 道内の学生献血推進ボランティア代表が意見交換を行い、若年層を意識したキャンペーンの企画・立案を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 専門学校、大学、献血推進ボランティア ・ 学生献血推進協議会
青森県	<p>大学等の献血推進 若年層向け記念品の作製・配布（学生献血推進協議会の意見を参考に）</p> <p>複数回献血クラブ会員の募集</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ サイトスタンプの設置 (携帯をかざすと、仮登録出来る) ・ パンフレットの配布 ・ クラブ会員の特典(マッサージ、リフレクソロジー) 	<p>各大学・各市町村 学生献血推進協議会</p>
岩手県	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大学・専門学校での複数回献血の実施 ・ 400mL 来て来て！キャンペーンの実施（1回目の献血時にお約束カードを渡し、2回目の400mL献血時に記念品を差上げる） 	<p>大学・専門学校・学生赤十字奉仕団</p>

秋田県	<ul style="list-style-type: none"> ・既献血者への電話、ダイレクトメール等 ・献血クラブ（メール会員）への登録促進 ・キャンパス献血（献血実施を増やし献血できる機会をつくる。） 	既献血者へ電話やメールによる献血依頼を実施。 学生献血推進協議会
山形県	<ol style="list-style-type: none"> 1 映画館において若年層を対象とした複数回献血を呼びかけるCMを放映する。 2 地元サッカークラブチームのホームゲームでの献血啓発活動。献血してくれた方の子どもを抽選でエスコートキッズとして採用。 3 地元サッカーチームの人気選手1日ルーム長 	血液センター (株)モンテディオ山形
宮城県	<ul style="list-style-type: none"> ・複数回献血クラブ会員への入会促進 	・宮城県赤十字血液センター
福島県	<p>大学生、専門学校生へのチラシ配布と学内にポスターの掲示</p> <ul style="list-style-type: none"> ・献血ルーム案内用 ・学内採血所における複数回献血者登録の募集 ・複数回献血登録者へ献血協力依頼の他にイベントの案内も実施 	各大学、専門学校

④献血者が心の充足感をより得られ、安心快適に献血を行っていただけるような環境整備

都道府県名	予定事業の概要 (事業の取組みに当たって、重点を置く事柄を含む。)	本事業を行うに当たっての連携・協力先 (連携・協力を必要とする団体等やその連携・協力を得るための方法。)
北海道	①デジタルフォトフレームやリーフレット等により受血者の感謝の声等を発信することにより、献血に対しより充実感が得られるものとする	

北海道	②キッズルームを完備し、保育士専門職（1～2人）を配置する等、子育て世代の方々にも安心して献血いただける環境を提供する。 ③職員のマナー講習を行い、献血者がより充実感を得られるよう、職員の接客スキルを向上させる。	
青森県	献血スタッフのスキルアップ	
岩手県	1 献血ルームの環境整備 2 受付・接遇職員のスキルアップ	
秋田県	・献血者に対する接遇教育 ・採血スペースの確保や安全面の配慮	接遇講師（血液センター職員）
山形県	1 献血ルームの移転（H24.10.10） 2 受付・接遇職員への教育訓練の実施	血液センター
宮城県	・オープン献血における軽食等の提供（ドーナツ、コンビニスイーツ） ・献血ルームの設備の充実（飲食物、雑誌、インターネット設備）	・宮城県赤十字血液センター
福島県	献血ルームの整備	学生の意見を取り入れた整備の実施

4. 27年度の献血推進計画への記載を要望する事項

都道府県名	27年度献血推進計画への記載を要望する事項。 (特段に希望する事項があれば記載してください。)	記載を要望する理由
7道県	なし	